



オーディオブックを持ち歩く

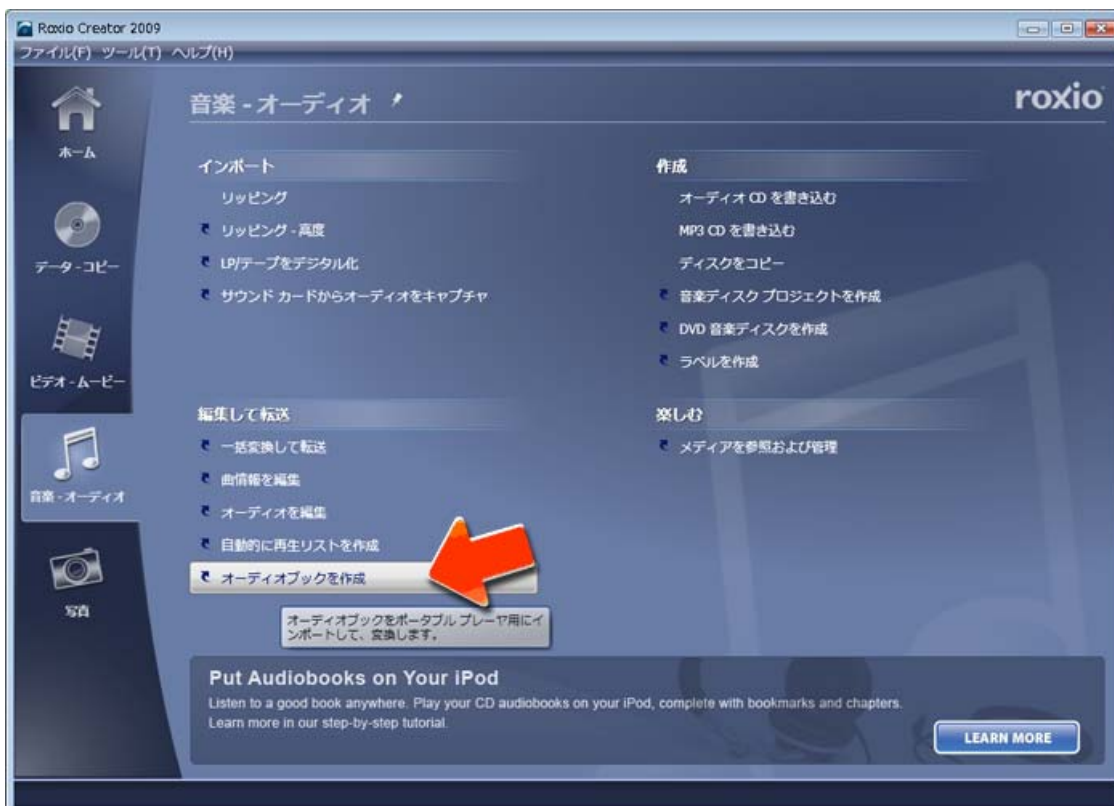
オーディオブック CD のもっといい聴き方をお探しですか? Roxio Creator 2009 では、オーディオブック CD を簡単に変換して、iPod、iPhone、またはその他のポータブル音楽プレーヤで再生できるようにします。これにより、重くてかさばる本を持ち歩いたり、CD プレーヤを必要としたりすることなく、車、ビーチ、または飛行機の中で読み続けることができます。

オーディオ CD および Web からダウンロードしたコピー防止機能の付いていないオーディオブックを変換できます。また、シリアル化されたポッドキャスト、ラジオ番組、またはその他のダウンロードした音声番組から独自の「ブック」を作成できます。それぞれの番組は新しいオーディオブックの「チャプター」となります。ブログや雑誌の記事、またはその他の書かれたコンテンツを、数多くあるスピーチプログラムを使用してオーディオに変換することもできます。次に Creator 2009 の Audiobook Creator を使用して、オーディオをポータブルプレーヤで再生できる形式のファイルに変換します。

必要なのはオーディオ CD、または一連の音声録音されたオーディオファイルです。このチュートリアルでは、プロジェクトゲーテンベルクの「不思議の国のアリス」を iPod で再生可能なファイルに変換して iTunes に送信する方法を紹介します。iPod または iPhone を接続している場合は、ネットワークを含めてファイルを直接プレーヤに送信することができます!

手順: オーディオブックのポータブルプレーヤ形式への変換

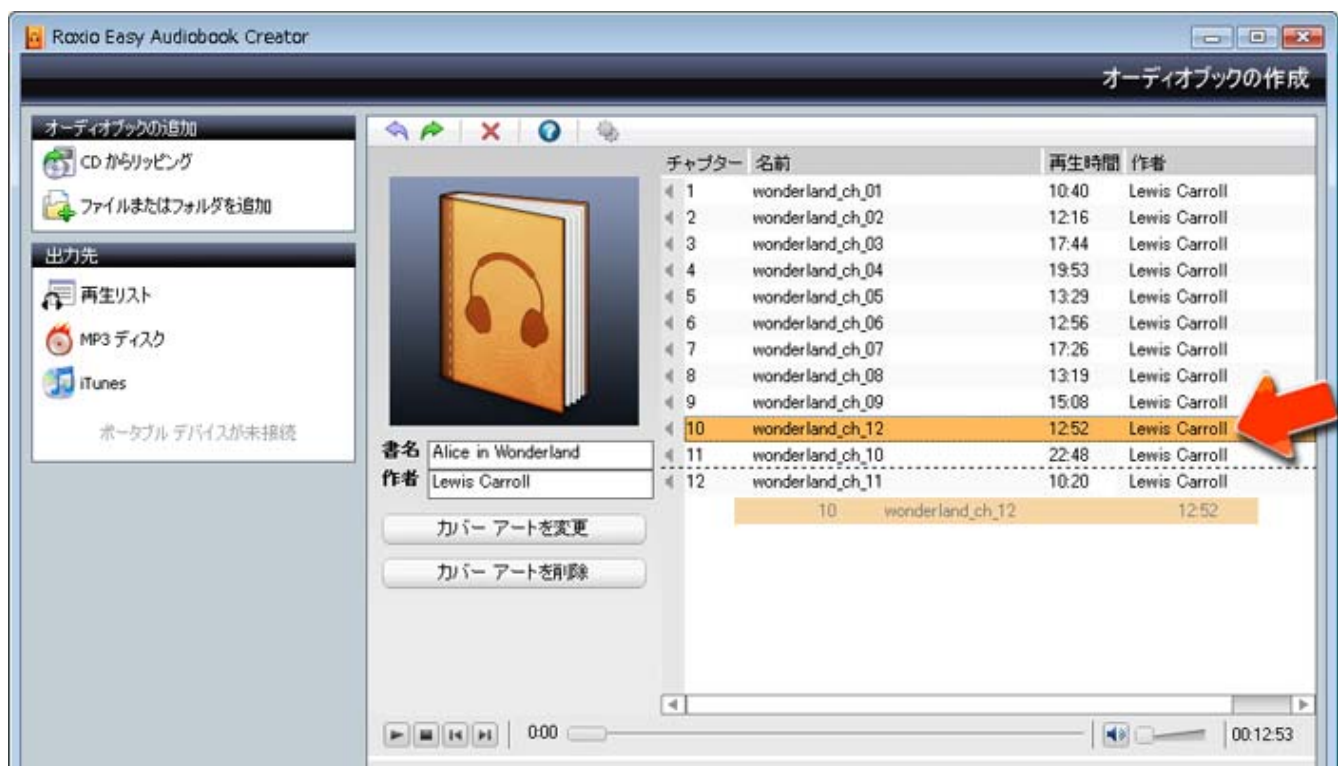
1. Roxio Creator 2009 を実行し、[プロジェクト] ペインでオーディオをクリックします。[音楽 - オーディオ] タスク リストが開きます。[編集して転送] で [オーディオブックを作成] を選択します。



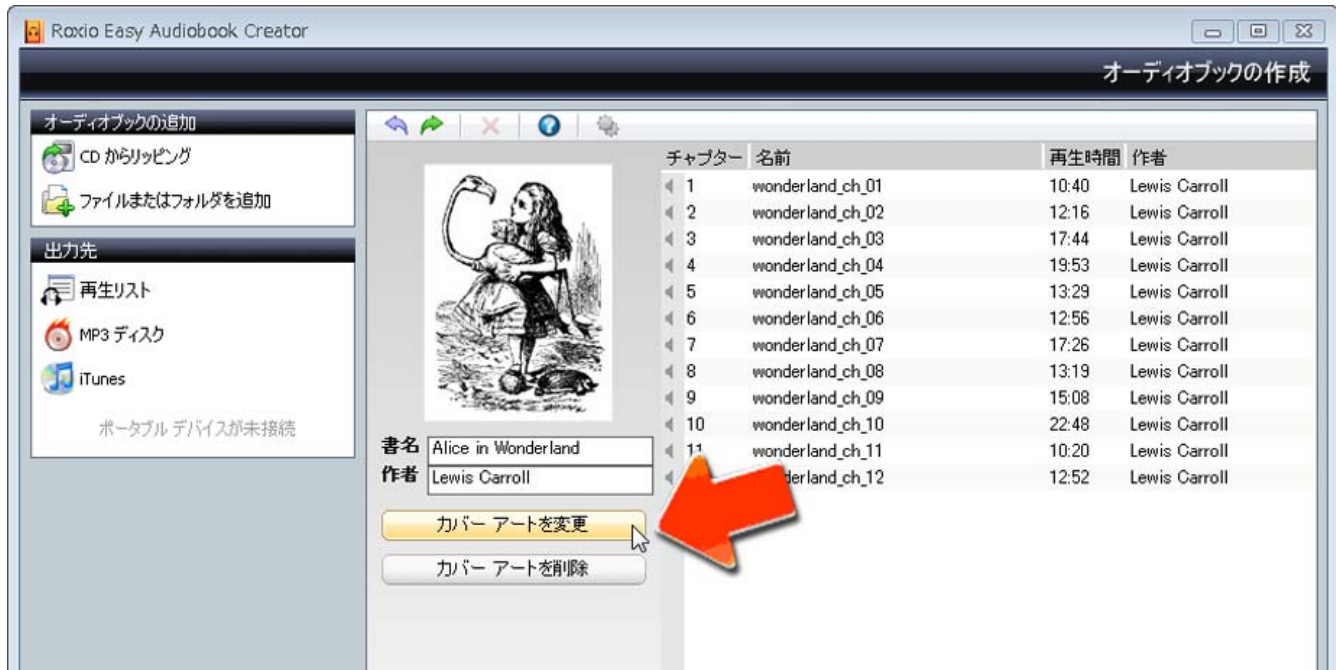
2. Audiobook Creator プログラムが開きます。左上のボタンのいずれかを選択して、コピー防止機能の付いていないオーディobook CDからファイルをリッピングするか、ハードディスクに既に保存されているオーディoファイル(Webからダウンロードしたものなど)を使用します。この例では、プロジェクトゲーテンベルクからダウンロードした「不思議の国のアリス」をインポートするために「ファイルまたはフォルダを追加」を選択します。



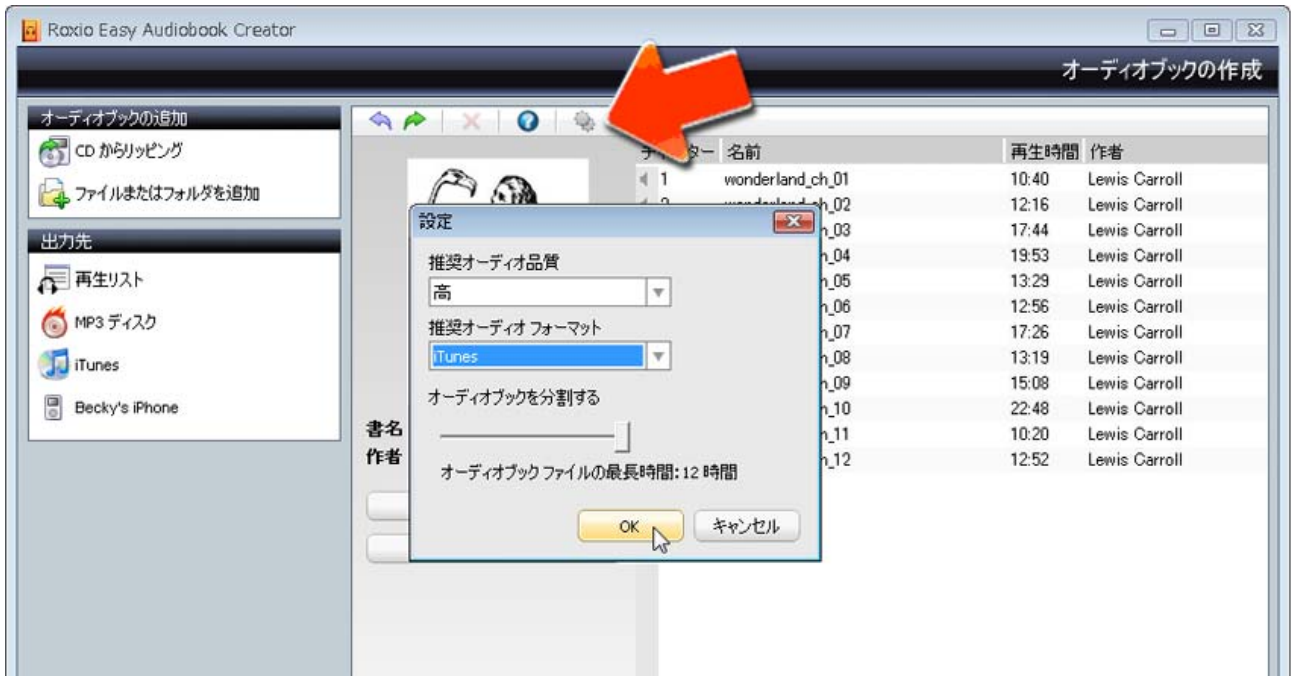
3. チャプターの配置を変更してタイトルをチェックします。 インポートするファイルを選択すると、右側のリストにそれらのファイルが表示されます。ファイルをドラッグして希望する順番に配置を変更します。また、名前と作者が正しいことを確認して、必要であれば画像の下のボックスで編集します。必要に応じて、下部にあるプレーヤコントロールを使用してファイルをプレビューします。



4. 必要に応じてカバーアートを追加します。iPod またはその他のプレーヤでオーディオブックを再生中にカスタムのカバーアートを表示させるようにするには、[カバーアートを変更] ボタンをクリックしてアートワークを追加します。ハードディスクから画像ファイルを選択するためのポップアップウィンドウが表示されます。ここでは、クイック Web 検索により、オリジナルの書籍のパブリックドメインのイラストが表示されています。アートワークには任意の画像形式を選択できます。



- 5. 出力設定を選択します。**次に、変換後のオーディオブックの品質レベルとオーディオファイル形式を選択します。Audiobook Creator の上部にある [設定] アイコンをクリックすると、[設定] ボックスが表示されます。ドロップダウンメニューを使用して [推奨オーディオ品質] ([高] または [中])、および [推奨オーディオフォーマット] を選択します。ポータブルプレーヤを接続している場合 (ここでは iPhone を接続しています)、自動的に適切なファイル形式が選択されます。このため、この時点より前にプレーヤを接続しておく必要があります。再生リストに出力する場合は、複数の形式のオプションの中から選択できます。最後に、オーディオブックのサイズがきわめて大きい場合は、スライダを使用してより小さなファイルに分割できます。これは、ブックが長すぎる場合に iPod 上でスムーズに再生されないことがあるので便利です。(ブックを分割できるのは、ソースが複数のファイルまたは CD トラックで構成されている場合のみであることに注意してください。)



6. オーディオブックを出力します。ファイル出力のオプションには、[MP3 ディスク]、[再生リスト]、[iTunes] およびご使用の iPod、iPhone、またはその他の互換性のあるポータブル デバイス (Creative Zen や Philips GoGear など) があります。ご使用のデバイスがコンピュータに接続されている場合は、例に示す iPhone のように [出力先] リストの下部に表示されます。(iPod および iPhone の場合は iTunes もインストール済みである必要があります。)[MP3 ディスク] オプションは、複数のオーディオブックのディスクを圧縮を使用して1つのCDに編集したり、ダウンロードしたファイルからオーディオブック CD を作成したりする場合に便利です。最後に、[再生リスト] オプションでは、オーディオブックを再生リストとしてハードディスクに出力します。この再生リストは、コンピュータの Windows Media Player などの標準のプレーヤソフトウェアを使用して再生できます。また、再生リストを後でポータブルプレーヤに送信することもできます。再生リストは、.M3U、.WPL および .MP3 形式で保存できます。ほとんどのプレーヤは .M3U および .WPL ファイルにおけるチャプターのスキップおよび一時停止/再開をサポートしています。.MP3 ファイルではチャプターのスキップはできませんが、一部のプレーヤでは再生リストではなく MP3 ファイルの一時停止/再開をサポートしています。

出力先をクリックしたら、オーディオブックが変換され、選択内容に応じてハードディスクまたはプレーヤに送信されます。Creator でオーディオブックが出力されると進行状況バーが表示されます。ここでは iPhone に直接出力するよう選択しています。終了後に iTunes が自動的に開かれ、ファイルのインポートと同期が行われます。



7. オーディオブックを聴きます。ここでは iPhone へ出力するよう選択しているため、ブックは iTunes 経由でプレーヤに送信されます。iTunes の [オーディオブック] に変換されたブックが表示され、iPhone との同期も行われます。iTunes および iPod/iPhone の両方でオーディオブックの一時停止と再開がサポートされているため、iTunes を終了するかプレーヤを終了した時点から続きを聴くことができます。どれだけ簡単かお分かりいただけましたか？

